

第 2 回排尿機能回復に向けた治療とケア講座 開催のご案内

《排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料 該当研修》

主催 埼玉県慢性期医療協会

後援 日本慢性期医療協会

共催 埼玉県病院団体協議会（日本医療法人協会埼玉県支部、日本病院会埼玉県支部、全日本病院協会埼玉県支部）

◆ 開催概要

平成 28 年度診療報酬改定では、手術等医療技術の適切な評価の中で、下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価として「排尿自立指導料」が新設され、さらに平成 30 年度の介護報酬改定では「排せつ支援加算」が新設されるなど、高齢者の自立に向けた排泄ケアがクローズアップされてまいりました。令和 2 年度の診療報酬改定では、排尿自立指導料が「排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料」として見直され、算定可能となる入院料の範囲が広がりました。これらの医療機関、介護施設、在宅療養の場では排尿に関してある程度の知識や技能をもった医師・看護師・リハビリテーション等のスタッフが多職種チームとして、排尿ケアを提供していくことが必要です。本講座では、1 日目（医師・看護師）では主に高齢者の尿路機能障害にポイントを絞り、病態や診断、治療、薬剤処方的基本的な知識の習得から症例検討まで広範囲に研修します。2 日目（看護師のみ）では排尿日誌や排尿ケアの情報提供書の記載方法、残尿測定法、自己導尿指導法、リハビリテーション等の演習を行います。この研修を通じて一人でも多くの患者さんが排尿機能を回復されることを願っています。奮ってご参加下さい。

- (1) 日 程 令和 5 年 11 月 10 日（金）、11 日（土）
- (2) 会 場 大宮ソニックシティビル 6 階会議室
1 日目 602 会議室 2 日目 602・603 会議室（演習）
埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 TEL 048-647-4111
<https://www.sonic-city.or.jp/access.html>
（JR 大宮駅西口より歩行者デッキ直結、徒歩約 3 分）
- (3) 定員 医師・看護師 計 90 名（先着順）
- (4) 参加費 医師：会員 15,000 円、非会員 25,000 円 参加 1 日目のみ（昼食 1 回含む）
看護師：会員 30,000 円、非会員 40,000 円 参加 2 日間（昼食 2 回含む）
- (5) 申込方法 埼玉県慢性期医療協会 HP 内、下記専用申込フォームよりお申し込みください。
【埼玉県慢性期医療協会 HP <http://saitama-jamcf.com>】
テキスト類は当日配布、参加案内・参加費請求書などは適宜送付致します。
- (6) 締切日 令和 5 年 9 月 30 日（土）（定員に達し次第締め切りとさせていただきます）
- (7) 連絡先 〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保 2197 富家病院内
埼玉県慢性期医療協会事務局 TEL049-264-8811 Fax049-264-8777

※ 全講座を履修された方には埼玉県慢性期医療協会より「排尿自立支援加算」及び「外来排尿自立指導料」該当研修の「修了証」を発行いたします。

（遅刻・早退・中抜けなどがある場合は修了証書を発行いたしかねます。）

◆プログラム《 1日目 》 令和5年 11月10日（金）（計 8時間）

9:40~9:50 (10分)	開講・事務連絡
9:50~11:20 (90分)	尿路機能障害の病態と診断 講師：本田 幹彦（西部総合病院 泌尿器科 副院長）
11:30~13:00 (90分)	尿路機能障害の治療 講師：本田 幹彦（西部総合病院 泌尿器科 副院長）
13:00~13:40 (40分)	昼食休憩
13:40~15:10 (90分)	排尿機能不全の背景を考える ～尿路機能障害の予防とケア～ 講師：西尾 俊治（南高井病院 泌尿器科 院長）
15:20~16:50 (90分)	尿道留置カテーテルの抜去に向けた取り組み 講師：西尾 俊治（南高井病院 泌尿器科 院長）
17:00~19:00 (120分)	排尿ケアチームの役割と排尿自立に向けた実践例（演習含む） 講師：西尾 俊治（南高井病院 泌尿器科 院長）

◆《 2日目 》 令和5年 11月 11日（土）（計 8時間30分）

9:20~12:10 (160分) 途中10分休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿日誌による評価（座学） ・排尿ケアの事例検討（座学） （排尿自立指導に関する診療の計画書） ・排尿日誌による評価・排尿ケアの事例検討（演習） 	講師： 皮膚・排泄ケア認定看護師 柴田 智恵子（三郷中央総合病院）
12:10~12:50 (40分)	昼食休憩	小久保 恵理（山梨大学大学院） 赤坂 和美（埼玉県立がんセンター）
12:50~17:40 (270分) 3グループに分かれ 各90分 途中10分休憩2回	<ul style="list-style-type: none"> ・エコーを用いた残尿測定の実際 ・排泄用具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法 ・自己導尿の指導方法 （それぞれ座学・演習）	本田 頼子（国立埼玉病院） 山本 幸子（草加市立病院）
17:50~19:10 (80分)	排尿自立のためのリハビリテーション（骨盤底筋訓練等演習含む） 講師：湯澤 司（富家病院 理学療法士）	
19:10~19:20 (10分)	閉講・事務連絡	